



みなみく

No.22

コミ協ニュース^{プラス}

(ホームページ増補版)

南区 冬から春のお楽しみ情報!

南区さざなみフェスティバル

[南区民文化センター]

日時：2月1日(土)・2日(日)

場所：南区民文化センター

このフェスティバルは、南区内で活動する文化サークルの成果を発表する場です。



みなさまのお越しをお待ちしています。

舞台発表：

音楽、舞踏、ダンスなどのサークル発表会

2月1日(土)11:00～、2日(日)10:00～

於：2階ホール

展示発表：

1月4日(土)～3月23日(日)9:00～21:00

於：2階さざなみギャラリー

1月28日(火)～2月2日(日)10:00～17:00

於：3階ギャラリー

※月曜休館(祝日にあたる日は開館)

こども劇場：

人形劇ペポによる子ども劇

2月1日(土)・2日(日)13:30～

於：2階スタジオ

体験コーナー：

来場者にサークル活動を体験していただくコーナー

於：3階美術工芸室など

バザー：

コーヒー、クッキー、軽食などの販売

2月1日(土)11:00～16:00(予定)

2月2日(日)10:00～16:00(予定)

於：2階ロビー

おはなし会：

「わくわくおはなしかい」

2月1日(土)14:00～14:30 14:30～15:00

於：2階図書館 おはなしの森

加盟団体の活動レポート

南区青少年健全育成大会

[南区青少年健全育成連絡協議会]

11月23日(土)に南区民文化センターで開催しました。



今回のテーマは「ともだち・友情」。いじめが社会問題になっている昨今、多感な時期真っ只中の中学生は、自分のクラスやクラブで身近に起きている友達との関係について発表してくれました。友情という力で元気になれる、前に進めるなど、生活の中で友達が大きな位置を占めていることを感じました。

高校生は、インターネットで顔も知らない人と簡単に「友達」になれる時代だからこそ、同じ空間を共有できる人や、支え合い助け合える人など、「本当の友達」と呼べる存在が必要ではないかなどの意見があり、発表者12名はしっかりと現実を受け止め、素晴らしい意見を述べてくれました。

まずはお互いの違いを認め、理解することから友情は深まっていくのではないかと、大会を終えて感じました。

(発表者と演題) (発表順)

蘆田 晴菜 (大州中)	『励ましてくれた仲間がいたから・・・』
小松 沙羅 (段原中)	「友情」
葉名 悠生 (仁保中)	人生を変えてくれた人
後藤 陽菜 (楠那中)	「友だちは最高!」
桶本 彩加 (宇品中)	友情があるからできたこと
井上 喜一 (似島中)	ともだちとは
石山 拓矢 (市工高)	自分を変えた被災地訪問研修
磯本 樹 (県工高)	今の自分
谷尾さやか (皆実高)	私にとっての友達
鈴木 成実 (進徳女子高)	小さな世界
恩地 海羽 (比治山女子高)	友達という存在
松川 英里 (広大附高)	「友達」とは